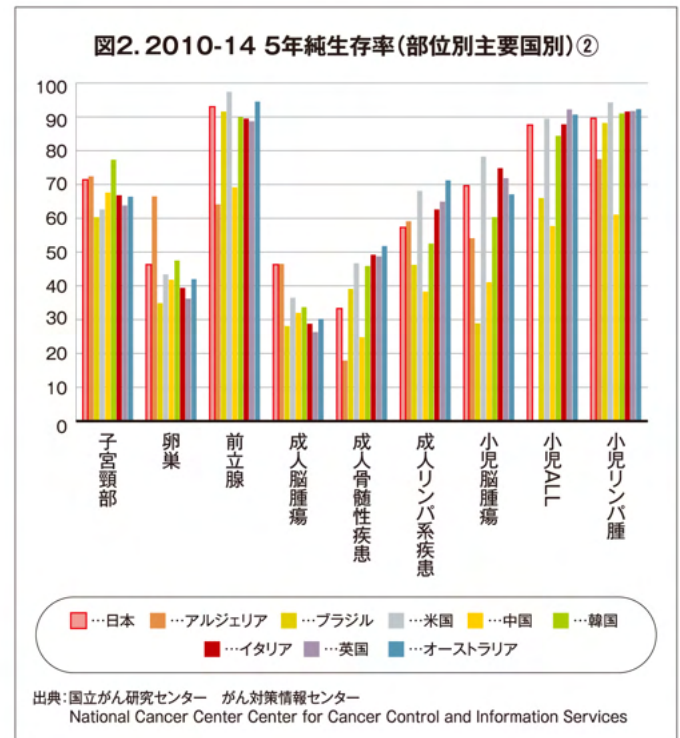


あった。関西や九州地方での、積極的な呼びかけに基づく肝炎ウイルスキャリアのを見つけ出しと治療が功を奏しているのではなかろうか。肺がんも、世界的には生存率が依然低く、欧州では20%程度であったが、日本は30%であった。

一方、皮膚悪性黒色腫はアジアでは非常に予後が悪い(図2)。また、成人骨髄性疾患の生存率も、アジアでは極めて低く、日本でも33.3%であった。成人リンパ性疾患も同様に、世界の40~70%に対し日本は57.3%であった。この格差は、医療の質によるのではなく生物学的な差とも考えられている。

CONCORDの住民ベース生存率は、経済協力開発機構(OECD)の医療の質評価の公式ベンチマークにも採用され、がん対策に活用できる医療情報として、現状最も信頼性の高い指標である。日本でも、がん対策推進基本計画等のがん対策に積極的に生かすべきと考える。



関 連 学 会 一 覧

2018(平成30年)

日程	学会名	開催場所
9月20日(木) ~ 21日(金)	第44回日本診療情報管理学会学術大会 http://jhim44.umin.jp/	新潟県 新潟コンベンションセンター
9月27日(木) ~ 29日(土)	第77回日本癌学会 https://www.congre.co.jp/jca2018/	大阪府 大阪国際会議場
10月18日(木) ~ 20日(土)	第56回日本癌治療学会 http://congress.jsco.or.jp/jsco2018/	神奈川県 パシフィコ横浜
10月24日(水) ~ 26日(金)	第77回日本公衆衛生学会総会 http://www.c-linkage.co.jp/jsph77/	福島県 ビッグパレットふくしま
11月12日(月) ~ 15日(木)	第40回国際がん登録協議会学術集会(IACR) http://www.iacr2018.org/	ペルー アキレバ